

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

野々市市立野々市小学校

GIGA校内研修推進リーダー(上田)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 大規模校で教員が多いので、実践例やアイデアを共有できた。 共通実践に協力的であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が集まる会を持つ時間が確保しづらかった。 教員間で操作の慣れに差がある。 昨年度に比べクロームブックを使用した教員が増えたが、活用イメージの共有が若手や学年だけになっている。

校内研修のアイデア

- 各学年に1名、情報担当者を決め、推進リーダーと情報担当者が情報を共有し、各学年に広げる。
- 若手研を活用し、若手中心に育成を進めていく。研修した内容を学年全体で共有したり、職員室のクラスルームで共有する。
- 学年で使用した教材をみんなが見れるように、●年教材庫というクラスルームを作成し、全体にアイデアを広げる。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全教員が、週に1回「児童が1人1台端末を活用して学ぶ授業」を行うことができる。
- 推進リーダーと、各学年の情報担当を中心に、授業のアイデアや困り感などの情報共有が活発にできる。
- 研究授業で各学年で1本以上、GIGAを用いた研究授業を行うことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	転任職員GIGA開き 新学級GIGA開きの開き方研修	推進リーダー	4/25(月)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修 ※年間計画持参
5月	若手研1(研修の持ち方) 若手研1.1(昨年度の実践報告) 若手研1.2(4・5月の実践報告)	推進リーダー 情報担当	5/17(月)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	若手研2(各学年に応じたGoogleの活用方法) ミライシードの使い方研修	推進リーダー 情報担当	
7月	ICT活用研究授業 ミライシードの使い方研修 若手研3(実践情報共有)	推進リーダー 情報担当	学校訪問
中間 目標	【教師と児童が慣れる】 ・教師が週に1回児童に使用させる。(朝学習も可) ・クラスルームの基本的な操作を覚える。「課題提出」「資料添付」「掲示板活用」など ・Googleフォームでの簡単なアンケートやテストを作成することができる。		
8月	学校訪問実践報告と2学期のGIGA研修会 外部講師による端末操作勉強会(全体) ミライシード活用研修会	推進リーダー 情報担当	
9月	若手研4(各学年に応じたGoogleの活用方法)	推進リーダー 情報担当	第3回GIGA校内研修推進リーダー研修
10月	若手研5(実践情報共有) ICT活用研究全体授業	推進リーダー 情報担当	中学年全体研究
11月	端末操作勉強会(学年会)	推進リーダー 情報担当	
12月	活用習熟度アンケート	推進リーダー 情報担当	
中間 目標	【教師と児童が使える】 ・ミライシードで漢字学習や計算学習を進めることができる。 ・「カメラ」「ジャムボード」「検索サイトの利用」「文章作成」「プレゼン」「表計算」のうち、低学年は1つ以上、中学年は2つ以上、高学年は3つ以上のアプリケーションを扱った経験がある。		
1月	若手研6(各学年に応じたGoogleの活用方法)	推進リーダー 情報担当	
2月	端末操作勉強会(学年会) 若手研7(実践情報共有)	推進リーダー 情報担当	
3月	年度末GIGA修め研修会	推進リーダー 情報担当	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・chromebookを活用した研究授業(GIGA研)を実施し、アプリの使い方や有効な使用場面を職員全体で考えることができた。 ・推進担当が文章を配付し、職員のICT活用に対する情報共有・興味喚起を図った。 ・職員の意識が高まり、年間を通じて児童がchromebookを使用する授業の頻度を学校全体で増やすことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・chromebookの用途を整理し、児童にどんな力を付けたいのかを吟味。 ・教員間の技能の差。 ・情報モラルやchromebookの使い方について年間を通じた位置付け。 ・うまくいった、いかなかった事例の積み上げや引継ぎ。

校内研修のアイデア
<p>①GIGA校内推進リーダーのほかに、各学年に推進リーダーを位置付け、学年に応じた実践を進めるとともに、成果と課題を蓄積、分析し、次年度へ引き継いでいく。</p> <p>②校内研究の中でも、児童がchromebookを活用する授業(GIGA研)を研究授業として位置付け、使用の推進、効果の分析を進める。また、授業者は授業後、実践内容を全職員へ周知し、教員全体に実践内容の理解を図る。</p> <p>③推進リーダーが適宜文章でchromebookの使い方や校内での授業実践、他校の実践例を紹介し、教員全体のICT活用に対する意欲喚起を行う。</p>

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<ul style="list-style-type: none"> ・児童が学びに集中できる環境づくり →「教師や他の児童が発言している場面では、端末の画面を閉じ、反応しながら聞いている姿」 →「授業中・授業外で端末使用のルールを守り、誰もが安心して活用できる姿」 ・情報を整理・分析したり、集まった情報から自分の考えを作ったりする場面でのICT活用 →「Jamboard等を活用し、画像や文章、矢印を使って自分の考えを整理・分析できる姿」 →「集めた情報を加工し、全体に共有・発表できる姿」

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等	
4月	各学年を通じて推進リーダーが文書発行・成果・課題の蓄積			
5月		「めざす学びの姿」について全体共有[文書配付]		GIGA校内研修推進リーダー研修
6月		1・5・6年chromebookを活用した研究授業[研究授業] 研究授業振り返り[文書配付]	推進リーダー 学年情報担当 授業担当者	
7月		「情報モラル」に関する校内研修【全体研修】 めざす姿に関わる進捗状況の中間把握[アンケート]	推進リーダー 学年情報担当	
中間目標		各学年単元を通してchromebook活用を位置付けた授業を1回は行う。		
8月		1学期実施活動報告[全体会or文書配付] ・めざす姿に関わる進捗状況の共有 ・改善策の提案	推進リーダー 学年情報担当	
9月		3年chromebookを活用した研究授業[研究授業] 研究授業振り返り[文書配付]	推進リーダー 学年情報担当 授業担当者	GIGA校内研修推進リーダー研修
10月		2・4年chromebookを活用した研究授業[研究授業] 研究授業振り返り[文書配付]	推進リーダー 学年情報担当 授業担当者	
11月				
12月		めざす姿に関わる進捗状況の最終把握[アンケート]	推進リーダー 学年情報担当	
中間目標		各学年単元を通してchromebook活用を位置付けた授業を1回は行う。		
1月		今年度実施活動報告[全体会or文書配付] ・1年間の成果・課題のまとめ	推進リーダー 学年情報担当	
2月				
3月				

目標の達成に影響を与える現状	
＋ (強み)	－ (弱み)
<ul style="list-style-type: none"> ICTに長けた人材が、複数存在し、ICT活用に関する悩み等の解決に大きく寄与している。 昨年度の取り組みの成果として、meetを使用するやスプレッドシートを共有して使う場面が、職員会において、ペーパーレス化を実践し、議件をPDFで提示・視聴することを日頃から多く体験している。 	<ul style="list-style-type: none"> ChromeBookに詳しくない教員が多く、操作や活用方法をまだ理解できていない。活用する場面が増えているように感じる。 データを共有することに抵抗を感じる教員が複数名見られる。データの共有などは、一部の教師が担っている状態である。

校内研修のアイディア

- 1人1台端末を活用した実践を行った際には、その内容と成果・課題を簡単に記録して蓄積し、他の教員に広める。(記録用の書式を作成)
- 月に複数回、会議や終礼の後の時間や書面を利用し、授業実践の報告や演習を実施する。(学年や、低中高などのくくりで輪番で。)
- 月に1回、校内研修推進チーム会議を設定し、実践記録等を参考にし、教師の困り事を洗い出し、対応策の検討を行う。また有効な実践については全教員に紹介して、活用を促す。
- 他校での実践を参考にし、有効と思われる取り組みを積極的に本校の校内研修に取り入れていく。
- ICTサポーターを活用した研修会を設定する。

目標「令和3年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

児童・教師が相互に関わり、自らの資質・能力・目的に応じてICT機器を活用しようとしている。

- 朝学習の時間に週1回のタブレット操作の日を設定し、繰り返し操作することで、全児童に、文字入力、カメラ機能の活用、ネット検索等の技能を身につけさせる。
- 全ての教員が、「クラスルーム」や「ドライブ」の共有機能を有したデータを編集作成する経験を積む。
- 推進メンバーを中心に、各学年の担当教員が共同編集機能を利用し、授業に協働学習を取り入れた授業の実践を行う。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	ステージ1・2必修動画視聴会(個人研修)4中 キーボー島アドベンチャー登録作業(担任) GIGA開き研修(全体研修)4/15 ChromeBook操作法研修会(個人研修)	推進リーダー 各自 各自 推進リーダー	第1回GIGA校内研修推進リーダー研修 4/25(月) ※年間計画持参
5月	googleアプリ研修 Google Classroom(全体研修) 個別学習事例研修(低中高学年部会) ステージ3必修動画視聴(個人研修)	推進リーダー 推進リーダー 各自	第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 5/17(火)
6月	googleアプリ研修 Google Drive(全体研修) 授業実践事例紹介(低中高学年部会)	推進リーダー 推進メンバー	新たな授業づくり研修アンケート提出
7月	個別学習事例研修(低中高学年部会) ステージ3必修動画視聴(個人研修)	推進リーダー 推進リーダー 推進メンバー 各自	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> すべての教員が、授業で、個別学習形態での1人1台端末を使った学習場面を設定する。週あたり、1・2年生は1回、3年生以上は2回以上実施する。(教師) 教師が作成した共有機能を有するデータを、高学年児童が共同編集、または共有する場面を1回以上設定する。 「カメラ撮影」「検索サイトの利用」「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」を扱う経験をする。(低学年は1つ以上、中学年は2つ以上、高学年は3つ以上)(児童) 		
8月	1人1台端末使用実践報告を準備(個人研修) 1人1台端末使用実践報告会:各学年1名報告(全体研修) googleアプリの活用事例紹介:協働学習(全体研修) 1学期の振り返りと2学期の取り組み確認(アンケート集約) 発表資料作成	個人・推進メンバー 各自・推進メンバー 推進リーダー 推進リーダー 推進チーム	
9月	協働学習携帯の授業実践(学年・低中高学年で) 前期の振り返りと今後に向けて(全体研修) 協働学習実践報告会…職員会議後5分程度(全体研修)	推進リーダー 各自・推進メンバー 推進リーダー 推進リーダー	第3回GIGA校内研修推進リーダー研修 9/13(火) ※発表資料持参
10月	協働学習携帯の授業実践(学年・低中高学年で) 協働学習実践報告会…職員会議後5分程度(全体研修)	各自・推進メンバー 推進リーダー	
11月	協働学習携帯の授業実践(学年・低中高学年で) 社会科研究授業(全体研)	各自・推進メンバー 授業者	
12月	協働学習携帯の授業実践(学年・低中高学年で) 協働学習実践報告会…職員会議後5分程度(全体研) 2学期の振り返りと3学期に向けて(全体研)	各自・推進メンバー 推進リーダー 推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> すべての教員が、ChromeBookを活用した協働学習の場面を複数回授業に取り入れ、うまくいった実践と、うまくいかなかった実践を職員に共有したことがある。(教師) 「カメラ撮影」「検索サイトの利用」「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」などのアプリケーションを使って他の児童と交流し、子ども同士による意見交換、発表などお互いを高め合う学びを経験している。(児童) 		
1月	協働学習携帯の授業実践(学年・低中高学年で) 協働学習実践報告(全体研修)…職員会・終礼後5分程度	各自・推進メンバー 推進リーダー	
2月	協働学習携帯の授業実践(学年・低中高学年で) 協働学習実践報告(全体研修)…職員会・終礼後5分程度 1年間の振り返りアンケート作成・集約 実践報告書作成	各自・推進メンバー 推進リーダー 推進チーム	令和4年度 GIGA校内研修実践報告提出 令和5年2月24日(金)
3月	1年間の振り返りと次年度に向けて(全体研修)	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(野々市市)立(富陽小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(川端久美子 中川輝陽 豆野元春)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 週2回以上、学習や活動の場面でICTを活用した教員が89%であった。 校内研修は希望制で行い、短時間の研修で教員間のICT活用の差を縮めることができた。 GIGA校内研修と学校研究を連動させたことで、学年会で端末の活用について話し合ったり、実践の共有を行ったりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 使用頻度の差がある。 苦手な教員は1回の研修で全てをマスターすることが難しい。 学年を超えた実践の共有が難しい。

校内研修のアイデア

学校研究「AI時代における情報活用能力の育成」と連動させて取り組む。

- 研究授業では、Chromebookを活用した授業を行う。
- 校内業務でG Suite for Educationを活用し、教員が様々な機能に触れる機会を設ける。
- 希望制の校内ミニ研修を企画する。(同じ内容のものを数回行う)
- 1学期末、2学期末の全体研で、各学年の実践発表を行う。
- 研究授業の研究通信を授業者が全員に配布することで、日々の実践の共有を行う。
- 1学期末導入予定のミライシード向けの研修をくりかえし行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 教師が学校業務や授業の中で、ICT端末をじゃぶじゃぶ活用することができる。
 - 教師が授業のねらいに迫るために、ICT端末を活用することができる。
- ICT端末を活用する場面の視点
- ①課題を明確にするために ②課題解決に向けた活動にするために(個人)
- ③思考や理解を深めるために(交流) ④学びをつなげるために(まとめる・ふり返り)
- 教師がG Suite for Educationとミライシードの機能の一長一短を理解し、目的に応じて使い分けができる。
 - 児童が学年相応のタイピング能力を身につけ、文章をキーボードで入力することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・GIGA開きをしよう[希望制] ・クラスルームを活用しよう[希望制] ・ジャムボードを使おう[希望制] ・スライドを使おう[希望制] ・Googleフォームを作ろう[希望制]	川端 中川 豆野	
5月	・電子黒板を使おう[希望制] ・ドキュメントを使おう[希望制] ・カフトを作ろう[希望制] ・デジタル教科書を使おう[希望制] ・AIテキストマイニングを使おう[希望制]	川端 中川 豆野	学校訪問 児童会集会
6月	・児童会活動でGoogleサイトを活用しよう[希望制] ・思考ツールの活用の仕方を知ろう[希望制] ・動画編集の仕方を知ろう[希望制] ・共有ドライブを使おう[希望制]	川端 中川 豆野	児童会集会
7月	・ミライシードの概要[全体研] ・オクリンクを使おう[希望制] ・ムーブノートを使おう[希望制]	川端 中川 豆野	タイピング強化週間 児童会集会
中間 目標	G Suite for Educationのたまかな機能を理解し、授業で活用することができる。 ・共同編集機能を活用することができる。 ・グーグルフォームを作ることができる。 ・ジャムボードの背景を変更し、効果的な活用を行うことができる。		
8月	・1学期の実践紹介[全体研] ・ミライシードの活用の仕方[全体研] ・ビデオ録画の方法を知ろう[希望制]	川端 中川 豆野	全体研
9月	・ドリルパークを使おう[希望制] ・オクリンクを使おう[希望制] ・ムーブノートを使おう[希望制]	川端 中川 豆野	
10月	・動画編集の仕方を知ろう[希望制] ・CD音源をデータ化する方法を知ろう[希望制] ・Meetの使い方を知ろう[希望制]	川端 中川 豆野	公開研究発表会 運動会
11月	・カルテを使って児童の学習状況を知ろう[希望制] ・オクリンクを使おう[希望制] ・ムーブノートを使おう[希望制]	川端 中川 豆野	児童会集会 児童会集会
12月	・オクリンクを使おう[希望制] ・ムーブノートを使おう[希望制]	川端 中川 豆野	タイピング強化週間 児童会集会
中間 目標	ミライシードの機能を知り、協働学習に向けた活用をすることができる。 ・「オクリンク」を活用して、個人思考、グループ思考の場を設けることができる。 ・「ムーブノート」を活用することで、児童の意見を瞬時に把握したり、意見を共有したりすることができる。		
1月	・2学期の実践紹介[全体研] ・動画編集の仕方を知ろう[希望制]	川端 中川 豆野	全体研
2月	・ドライブの整理の仕方を知ろう[希望制]	川端 中川 豆野	タイピング強化週間 6年生を送る会 児童会集会
3月	・GIGA終わりをしよう[希望制]	川端 中川 豆野	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(野々市市)立(館野小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(野村 泰孝)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 児童がスムーズにタブレット端末を操作できた 特別活動(委員会・クラブ)で、スライド・アンケート機能で工夫した発表をしていた 帯学習に「キーボード島(タイピングアプリ)」を行い、児童のタイピング意欲向上につながられた 体育科で、互いの動きを動画に撮り確認することやお手本動画を配信することで、具体的な動きのイメージを持たせ、よりよい動きを考えられるようになった 全教員がタブレット端末の使用し、オンライン授業・事務連絡を行い、カメラ・アンケート・コメント機能、Jamboardを活用できた 	<ul style="list-style-type: none"> 帯学習に「キーボード島(タイピングアプリ)」の取り組み、児童の意欲に差がある 情報モラルや学校のタブレット端末ルールを破ることがある タブレット端末操作スキルの差

校内研修のアイデア

- 「全体研修」**
- ①学校研究「すすんで学ぶ子」の育成に向け、タブレット端末の使用方法について共有する実践報告会・研修を行う。推進リーダーの研修報告も含む。
 - ②長期休暇中に、タブレット端末の使用方法研修を行う。
- 「少人数研修」**
- ①学年会・ブロック研究科で、タブレット端末を使用した単元を話し合い、効果的な実践方法を話し合う。週案・年間指導計画に位置づけ、実践を校内報告・共有フォルダに周知・蓄積する。
 - ②推進リーダー(副リーダーも含む)を中心に常時・即時的OJTを行い、技能向上を行う。
- 「自主研修」**
- ①スマートスクールネットからICTに関連した動画を繰り返し視聴する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 児童**
- ①児童がタブレット端末の使用モラルを守り、適切・安全な使用ができる
 - ②毎週の帯学習で、児童が「Chromebook」でキーボード打ちを行い、キーボード打ちに慣れ親しむ(低学年)、習熟する(中・高学年)
 - ③学びを深めるための手立てとして活用できる(学習の振り返りにICT機器の内容が書かれている)
 - ④考え・発表内容を分かりやすく発表する手立てとして、活用できる
 - ⑤自主的に学習内容を復習・予習できる
- 教員**
- ①全教員が「GIGAスクール構想」を理解し、推進リーダーの授業・校内研修を通して、ICT機器を活用した授業実践をする
 - ②学校評価等紙媒体のアンケートを電子媒体へと随時移行する

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	・GIGA開き(2~6年生)
5月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	・GIGA開き(1年生)
6月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	
7月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボード島の20級到達がクラス50%以上 ・ICTを活用できるアンケート項目 児童:80%(A+B) 教師:90%(A+B) 		
8月	「全体研修」1学期実践報告・2学期の共通実践 「少人数研修」	推進リーダー 推進副リーダー	・宿泊活動
9月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	
10月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	・スポーツフェスティバル
11月	「全体研修」効果的なICT機器の活用方法 「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	・テディベアプロジェクト
12月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	・合宿報告会
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボード島の20級到達が80%以上、10級到達が50%以上 ・ICTを活用できるアンケート項目 児童:90%(A+B) 教師:100%(A+B) 		
1月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	
2月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	・6年生を送る会
3月	「少人数研修」 「自主研修」	推進リーダー 推進副リーダー	・テディベアプロジェクト ・クラブづくり